資料提供：2012年11月6日(火)
送 信 元：阪神総合レジャー株式会社

ROKKO MEETS ART　News Release

六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2012
来場者の投票で選出する「六甲ミーツ・アート大賞」
グランプリは昨年に続きクワクボリョウタ氏に決定！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市　社長：藤原崇起）と、その子会社である阪神総合レジャー株式会社（本社：大阪市　社長：岡本交右）は、2012年9月15日（土）から11月25日（日）まで六甲山上施設において、現代アートの展覧会**「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2012」**を開催しています。

この展覧会は地元である阪神間のみならず、全国に六甲山の魅力を広く伝え、神戸・六甲山地区の活性化にも繋げていきたいと考え、2010年に初開催し、今回で3回目の開催です。

「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」は現代アートの作品を通じて六甲山の魅力を再発見してもらうことを大きなテーマにしており、六甲山上をピクニック気分で周遊し、自然や眺望、文化、歴史といった六甲山本来の魅力を五感で感じながら、アート作品をお楽しみいただけます。

本年度は、招待アーティスト16組と公募アーティスト16組、総勢32組による42作品を六甲山上の各所に展示しています。

11月4日（日）時点での**来場者**（展覧会の鑑賞チケットでの来場）**は昨年度に比べ約47%増**と、大変好評です。

◆六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2012「六甲ミーツ・アート大賞」について

本展覧会では全出展作品を対象に、来場者の人気投票で選出される「六甲ミーツ・アート大賞」があります。
投票は9月15日（土）から11月4日（日）まで行い、この度、以下の通り「六甲ミーツ・アート大賞」3賞が決定しました。

六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012「六甲ミーツ・アート大賞」 受賞者

グランプリ	クワクボリョウタ	LOST #7
準グランプリ	横田健司	65 rooms
特別賞	しりあがり寿	レストランの秘密

クワクボリョウタ氏の作品「LOST #7」は得票率33%と多くの支持を得て、グランプリに輝きました。クワクボ氏は昨年、同展覧会に出展した作品「LOST #3（組織観察）」でも「六甲ミーツ・アート大賞 グランプリ」を受賞しており、2年連続での受賞です。

※表彰式ならびに受賞作家のプロフィールに関する情報は2ページ目以降をご覧ください。

◇◆◇◆◇◆ ◆◇◆◇◆◇

■六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012「六甲ミーツ・アート大賞」表彰式について

「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012」のクロージングパーティーの際に「六甲ミーツ・アート大賞」の表彰式を行います。

【日時】

11月25日（日） 15:00～17:30 （表彰式は16:00頃）

【場所】

六甲山カンツリーハウス内 レストランアルペンローゼ

【参加対象】

六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012の来場者、出展アーティスト、プレス関係者、来賓など

【備考】

クロージングパーティーでは「六甲ミーツ・アート大賞」の表彰式の他に、出展アーティストの加藤泉氏、クワクボリョウタ氏、しりあがり寿氏によるトークショーも行います。

■「六甲ミーツ・アート大賞」受賞者プロフィールについて

＜グランプリ＞

クワクボリョウタ ／ 受賞作品名：LOST #7

作者は、これまでにエレクトロニクスを使った作品を数多く発表し、国内外で高い評価を得ているメディアアーティストです。

この度、グランプリを受賞した作品は鉄道模型を利用して影絵を映し出す作品です。作者がこれまで発表してきた作品「LOST」シリーズの7作目で、昨年、作者が六甲山を周遊した際に体験した情景がもとになっています。

タイトルに用いられている「LOST」は「Light」「Object」「Space」「Time」という4つの要素の頭文字をとったものです。多くの鑑賞者が、その世界に迷い込み（LOST）、いつの間にか我を忘れて作品に入り込んでしまいます。

（展示場所：六甲高山植物園内 映像館）

作品の世界に引き込まれ、まるで自からが電車の車窓から景色を眺めているかのような錯覚に陥り、映し出される様々な光景に驚きや感動を与えた点が鑑賞者の多くに支持されました。

＜経歴＞

1971年 栃木県生まれ、東京都在住
1993年 筑波大学芸術専門学群構成専攻総合造形コース卒業
1996年 筑波大学大学院修士課程デザイン研究科総合造形修了
2001年 国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）アート&ラボ科卒業

＜主な受賞歴＞

2002年 アルス・エレクトロニカ インタラクティブ部門 入選
2003年 第7回メディア芸術祭 アート部門 大賞
2011年 第61回文部科学大臣新人賞
六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2011 六甲ミーツ・アート大賞 グランプリ

＜準グランプリ＞
横田健司（よこたけんじ）／ 受賞作品名：65 rooms

これまで建築を通して身の回りの環境とどう関係していくかを表現してきた作者。
この度、準グランプリを受賞した作品はトンネル状の64の空間に様々なオブジェが配置されています。
扉を開けオブジェ越しに六甲山の景色覗き込むと、それまでとは異なった世界が広がります。
この作品は鑑賞者がいつもと違う世界を見るためのツールであり、建築家である作者が空間に対する自由な遊び心を表現した作品です。
（展示場所：六甲山カンツリーハウス）

小さな部屋をのぞくとそれぞれの驚きが感じられ、また六甲山というフィールドをうまくいかした作品であるという点などが支持されました。

＜経歴＞
1978年　広島県生まれ、同県在住
2003年　広島工業大学大学院修士課程修了
2010年　横田健司建築設計事務所設立

＜主な受賞歴＞
2002年　2002年度日本建築学会設計競技　支部入選
2002年　第37回セントラル硝子国際建築設計競技　優秀賞
2003年　第30回日新工業建築設計競技　佳作
2012年　広島市現代美術館 ゲンビどこでも企画公募2012 靉嘔賞

＜特別賞＞
しりあがり寿（しりあがりことぶき）／ 受賞作品名：レストランの秘密

漫画家を生業としている作者は「真夜中の弥次さん喜多さん」「ヒゲのOL薮内笹子」「地球防衛家のヒトビト」など多くの作品を生み出し、幅広い世代の人たちに支持されています。
この度、特別賞を受賞した作品は六甲山カンツリーハウスの中にあるカンツリーグリル（冬期のみレストランとして使用している場所）を使って3部構成でインスタレーションを行っています。
3つの部屋を使い「にぎやかなレストラン」「狂ったレストラン」「秘密工場」と一部屋ごとにまるで漫画のコマのようにストーリーが展開していきます。
（展示場所：六甲山カンツリーハウス内 カンツリーグリル）

作品の完成度が高く、独創的で驚きや面白さを感じられる作品であり、また展示する場所をうまく使っている点などが支持されました。
（写真は2つ目の部屋「狂ったレストラン」）

＜経歴＞
1958年　静岡市生まれ、現在主に東京で制作
1981年　多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業
1985年　単行本『エレキな春』で漫画家デビュー

＜主な受賞歴＞
2000年　『時事おやじ 2000』（アスペクト）
『ゆるゆるオヤジ』（文藝春秋）にて
第46回文藝春秋漫画賞を受賞
2001年　『弥次喜多 in DEEP』（エンターブレイン）にて
第5回手塚治虫文化賞「マンガ優秀賞」を受賞
2011年　文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞